第 20 回世界歴史都市会議　姫路宣言（日本語訳）

2026 年 11 月 10 日-12 日に、日本の姫路市で第 20 回世界歴史都市会議が開催されました。参加者は、「持続可能で強靭な未来に向けた文化遺産の保存と活用」をテーマに討議し、次のとおりともに取り組むことを宣言します。

1　歴史都市の価値を支える関係性

文化遺産がどのような時代の、どのような変化においても強靭かつ持続的であり続けるためには、文化遺産を個別に捉えるのではなく、環境や社会、経済等との多層的な関係性に着目するヘリテージ・エコシステムの視点が求められます。我々は、それにふさわしい分野横断的なガバナンスの構築に努めます。

2　多様な主体との協働

文化遺産は、自然、歴史、文化、社会、環境とのつながりの中で、多様な役割を果たしてきました。我々は、文化遺産を地域の共有財産として守り、活用し、新たな価値を創造するために、市民、行政、企業、研究教育機関など多様な主体と協働します。

3　技術の継承と革新

文化遺産を支える技術は、長い年月の中で発展しながら受け継がれてきました。我々は、その本質を受け継ぎ、なお、未来に発展的に引き継ぐ必要があります。そのために、国や地域を超えて相互に学び合い、先端技術を適切に取り入れながら、伝統の継承と革新に繋げていきます。

4　強靭性（レジリエンス）の向上

文化遺産は、災害、気候変動、社会や経済の変化などから様々な影響を受けます。レジリエンスは、このような影響への対応能力としてだけでなく、時間の経過とともにさまざまなリスクに備え、対応し、回復する能力を高めていく継続的なプロセスです。我々は、災害への備えと復旧を含む体制を強化することで、文化遺産と地域社会の強靭性の向上に取り組みます。

5　平和な社会の実現

文化遺産は、各国各地域の歴史・伝統・文化・風習などを今に伝えています。我々は、交流を通じて多様な価値観に理解を深め、相互支援に努め、平和な社会の実現に貢献します。

6　歴史都市の担い手の育成

文化遺産は、その価値を知り、守り、活用する人々が育つことによって、次の世代へ受け継がれます。我々は、次世代が文化遺産について学び、体験し、交流し、その保存と活用に主体的に参加することを支援することで、担い手の成長を促します。

本宣言への署名を通じ、我々は、文化遺産を確実に次の世代へと継承し、その価値を生かした持続可能で強靭な未来の実現に向けて、ともに行動します。

2026 年 11 月 12 日

日本・姫路市